

中国語「脏」と「汚」の多義性と社会文化的基盤

劉 赫洋*

要旨：本研究は、現代中国語における「脏」と「汚」の多義構造を、辞書分析・コーパス調査・社会文化的考察を通じて体系的に解明した。両語は「不潔さ」を中核としつつも、意味拡張の方向性に顕著な差異が認められる。「脏」は身体的・即物的汚れを基盤に、空間配置の不適切性（脏物）や審美的無秩序（脏辫）、さらには道徳的墮落（脏手）へと主観的評価を広げる。一方「汚」は、物理的汚染（污水）から抽象的な社会的瑕疵（污名）へ階層的に意味を深化させ、現代ではインターネットスラングとして「性的タブー」（污段子）を婉曲化する形容詞用法を獲得している。コーパス分析からは、「脏」が日常的・身体的な文脈で造語能力に優れるのに対し、「汚」は制度的・公的議論に偏る傾向が明らかとなった。さらに、両語の用法は中国社会の規範意識、民間信仰、デジタル世代の価値変容を反映する。

キーワード：多義性 認知メタファー 社会文化的基盤

1 はじめに

言語は、その使用者の文化や社会規範を直接的に反映する媒介である。特に、不潔さを表現する語彙は、身体的な不潔さだけでなく、社会的・道徳的側面にも及び、多義的で複雑な意味を持つ場合が多い。本研究では、現代中国語において頻繁に用いられる「脏」「汚」の二語を取り上げ、これらの語が具体的にどのような文脈で使用され、それがどのような文化的・社会的価値観を反映しているかについて詳細に分析する。研究方法として、『現代汉语词典』（第七版）、『汉语教与学』（2014年版）および『现代汉语规范词典』（2022年版）の語義分析、さらにBBC中国語コーパスに基づく実際の使用例の検討を通じ、両語の意味的・語用的特徴を整理し、文化的・社会的な観点から考察を行う。

2 中国語「脏」と「汚」の辞書的意味

ここでは、『現代汉语词典』（第七版）（以下『現代』）、『汉语教与学』（2014年版）（以下『教与学』）および『现代汉语规范词典』（2022年版）（以下『规范词典』）の定義に基づき、「脏」と「汚」の語義を下表1に整理し、両語の共通点および相違点を見よう。

* 劉 赫洋：佛教大学文学部中国学科 特別任用講師、博士；研究分野は日中語彙対照研究 漢字教育。

表1 各辞書にある「脏」と「汚」の定義

	脏	汚
『汉语教与学』	①dirty 不干净; 有不干净的东西 ②filthy 不文明的; 下流 (ungraceful) 的	①(形素) dirty; filthy 脏; 不干净 ②(形素) corrupt 不廉洁
『现汉汉语词典』	①[形]有尘土, 汗渍, 污垢等; 不干净	①脏
『现代汉语规范词典』	①[形]有污垢; 不干净	①[形]不清洁; 肮脏 ②[形]不廉洁

表1から明らかなように、まず「脏」については、三つの辞書すべてにおいて「不潔であること」が核心的意味として共通している。言い換えれば、「脏」は何らかの物理的な汚れや垢によって清潔さを欠く状態を指す。『教与学』では、この基本義を「清潔でないこと」と位置づけつつ、派生的に道徳的な不潔さ（不廉潔・卑劣さ）や言葉の汚さまで含めて定義していると考えられる。一方、「汚」については、『现汉』では単純に「脏」と定義され、物理的な不潔さを表す語として扱われている。『教与学』では「形素 (morpheme)」として dirty や filthy の意味を持つだけでなく、corrupt (不廉潔) といった道徳的腐敗も表すと説明される。以上を整理すると、「脏」と「汚」には品詞上の違い（「脏」は語、「汚」は形態素）がある一方、どちらも「物理的な不潔さ」と「道徳的な不潔さ」を示す点で共通していると言えよう。しかし、「脏水-污水」や「脏物-污物」のように、いずれも造語成分として「脏」と「汚」が造語に参与しているが、それぞれどのような性格を担っているかは、辞書的意味だけでは十分に明確できないと考えられる。

3 「脏」と「汚」の語形成体系について

本研究で対象とした三つの辞書に収録されている「脏」と「汚」を含む二音節語彙を整理し、その結果を以下に示す。

「脏」： 脏病 脏弹 脏话 脏活 脏土 脏字 （6語）

「汚」： 污水 污泥 污点 污垢 污痕 污名 污物 污渍 （8語）

以上の整理結果を踏まえ、「脏」と「汚」の語形成体系を形態論的観点から分析すると、両者の結合パターンには「意味的階層性」と「認知スキーマの差異」に起因する体系的な違いがあることが分かる。

まず、「脏」の語形成に注目すると、その結合パターンは主に「身体性」および「即物性」という二つの要素に強く制約されている。このため、後続要素として現れる語は非常に限定的で、

具体的には①物理的実体を示す「土(土壤)」や「弾(爆弾)」、②人間の身体的な行為を示す「話(言葉)」や「活(仕事)」などに限られる傾向がある。これらの例から明らかなように、「脏」の語形成には「身体」と「物質」との密接な共起関係が働いている。「脏」の持つ原義が「臓器(内臓)」であるため、身体的または具体的な物質的要素との関係を前提として造語されており、メトニミー(換喩)的拡張、すなわち部分(内臓)から属性(汚れ)への意味拡張の範囲を超える。例えば、「脏病」はもともと臓器の病気という意味を起源としているが、やがて道徳的・社会的に否定的な疾患を指す用法へと転じた語であり、常に「身体性」を基盤とした連鎖が認められる。「脏话」や「脏活」においても、人間の具体的な身体行為やその行動に起因する否定的な評価が含まれており、身体性の制約を示している点で共通する。「脏土」や「脏弹」といった語彙も同様に、物理的に汚染された具体的実体が語形成の基盤となっていることから、「脏」の持つ意味拡張が身体的または即物的な枠組みを逸脱しないことが分かる。

一方、「汚」を含む語彙の語形成体系は、物理的な具体物から抽象的な概念へと段階的に意味が拡張される階層性を示している。まず一次結合段階では「水(水)」「泥(泥)」「垢(垢)」など、自然物に直接関連する語彙が形成されていることが特徴である。これらの語は具体的で直接的な物質的汚染を表すものである。次に、二次結合ではこれらの具体的な物質が残した痕跡を表す語、「漬(染み)」や「痕(跡)」が出現し、「污渍(汚れた染み)」「污痕(汚れの痕跡)」など、より抽象度の高い汚れの概念が形成される。そして三次結合では、社会的評価や抽象的な価値判断と関連した語彙、「污名(汚名)」や「污点(比喩的な汚点)」などが現れる。この段階において、「汚」は完全に抽象的な社会的概念を含意する語となる。このように、「汚」を含む語彙の展開は、具体的な物質的汚染というプロトタイプ的な原義から、次第に抽象的・社会的な評価へと放射状に意味が拡張していることが明確に確認できる。

以上の辞書に収録されている「脏」と「汚」を含む二音節語彙の分析から、「脏」は常に身体的または物理的な具体的な事象に基づいて語を形成し、意味の広がり有限であるのに対し、「汚」は自然物の汚れという具体的な意味から、徐々に抽象的で社会的な領域へと意味を広げる傾向があることが分かる。

4 コーパスから見る「脏」「汚」の造語パターンと使用領域

この節では、まず、辞書に収録されている「脏」と「汚」を含む二音節語彙の補完するために、BBC 中国語コーパスを用いて「脏」と「汚」を含む語彙を検索した結果を以下に示す。

「脏」： 脏物 脏水 脏手 脏钱 脏迹 脏辫儿
脏衣服 脏东西 脏空气 脏心眼儿 脏事情 (11 語)

「汚」： 污气 污尘 污毒 (3 語)

以上から分かるように、「脏」は身体性に根差した直接的な表現として、日常会話において不可欠な役割を果たしている。また、造語能力に関しても、形容詞「脏」は形態素「汚」と比べてはるかに優れている。下図は、BBC コーパス調査を通じて「脏」と「汚」を含む二音節語の中で、使用頻度が上位 10 位に入る語彙を比較したものである。

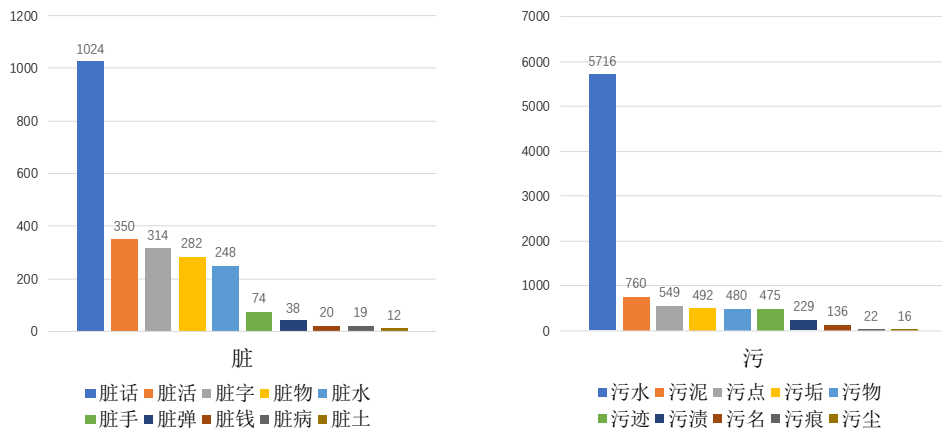


図 1 BBC コーパスに基づく「脏」・「汚」を含む二音節語の頻度上位語の比較

「脏」を含む語彙について見ると、最も高頻度で使用されているのは「脏话」であり、他の語彙と比較して突出している。このことから、「脏话」は日常的な口語表現として広く定着していると推察できる。一方、「汚」を含む語彙において最も頻繁に使用されているのは「污水」であるが、こちらは「脏话」のように口語的・日常的な文脈で用いられる語彙とは性質が異なり、主に環境問題や衛生管理、社会的な議論に関わる場面で使用されていることが明らかとなった。

次は、「脏」と「汚」の語義についての考察を行っていきいたい。

4.1 「不衛生」における「脏」と「汚」

ここまで見てきたように、物理的な汚れや細菌の付着、あるいは人体内部への侵入などに伴ってもたらされる「不衛生」の概念においては、「脏」（脏手、脏病、脏衣服）と「汚」（污泥、污渍、污垢）のいずれも造語に積極的に関与している。その中でも、「脏水－污水」、「脏物－污物」のように、「脏」と「汚」が連体修飾として「水」や「物」と結びつく例が見られる。以下に示す用例はすべて BBC コーパスから抽出したものであり（下線は筆者）、これらを通して両語の語義について考察する。

- (1) 我在洛杉矶每日喂七、八只流浪猫。无人照顾时，它们喝着脏水，经常拉肚子…
- (2) 加上此处没有上下水道，地下到处是烂菜叶、脏水，炉灰…
- (3) 据当地通报，这家工厂涉嫌污水直排长江…
- (4) 金属物质渗入的是流水线员工体内，排放的大量有毒重金属污水…

例(1)と例(2)に見られる「脏水」は、日常生活の延長線上にある水の汚れとして捉えられ、比較的身近であり、生物学的・物理的に除去可能と考えられる。一方、例(3)と例(4)における「污水」は「工厂」のような工業生産施設などを經由し、物理的・化学的反應によって人間や自然環境に害をもたらす不可逆的な性質を持っている。特に例(4)の「污水」は、単に見た目や臭いが「汚い」だけではなく、有毒金属や化学物質による汚染などを通じて、環境や人体に深刻かつ不可逆的なダメージを与え得る性質がうかがえる。

- (5) 磨擦牙齿的过程中出现满嘴的泡沫，更有利于清除口腔里的脏物…
- (6) …但会在浴缸上留下许多刮痕，更容易聚集脏物…
- (7) 呼和浩特市副市长王刚说：“要特别重视污水，污物的处理…”
- (8) …搞好环境卫生。对垃圾，污物等要进行无害化处理…

例(5)と例(6)における「脏物」は、いずれも日常生活において発生しやすく、人体や生活空間に付着することで不潔と見なされる物理的な汚れとして捉えられている。一方、例(7)と例(8)に見られる「污物」も、後続の「(無害化) 処理」という措置によって、単なる物理的な汚れや細菌の付着による「不衛生」ではなく、汚染物質を含み、有毒な化学物質を中和したり、適切に分解・処理して環境へのリスクを最小化する必要があるものと考えられる。

4.2 「不適切」な空間配置における「脏」

4.1 節では、「脏」は主に、細菌の繁殖や物理的な汚れの付着など、対象そのものの性質に由来する「汚れ」として認識され、その意味範疇が形成されている。しかし、言語運用においては、「脏」が必ずしも物体の物理的状態のみに依存せず、社会的文脈や空間配置の不適切さに基づいて用いられる場合がある。以下の例を見てみよう。

- (9) …有的商贩随地乱扔菜叶、瓜皮等脏物…
- (10) …辱骂着我的每一个长辈，用树枝抽我的背，把脏土抛到我的头发上…
- (11) …在花园里挖土，准备种植新的花朵。

例(9)にある「脏物」は、例(5)と例(6)における「脏物」と比べれば分かるように、「脏」が物理的な汚れや細菌の付着に伴う「不衛生」ではない。つまり、ここで言う「脏物」は、単な

る「腐敗した廃棄物」ではなく、商販が「菜叶（野菜の葉）」「瓜皮（瓜の皮）」を路上に散乱させる行為そのものの不適切さに由来する。「菜叶」や「瓜皮」などの「物」が「脏」と認知されるのは、それ自体に汚れなどが付着しているのではなく、「乱扔（投げ捨てる）」という行為によって、本来ゴミ箱など適切な空間に廃棄されるべき「物」が、「不適切」な空間に放置されてしまうことが要因だと考えられる。

例(10)における「脏土」は、例(11)「…在花园里挖土，准备种植新的花朵。」の「土」と比較すれば分かるように、例(11)において「土」は花を植えるために「花园」という適切な場所で扱われるものであり、そこでは「土」はあくまで自然な存在であるために「脏」の属性は付与されていない。一方、例(10)の「脏土」は、それ自体が物理的・衛生的な意味で汚いというよりも、暴力や侮蔑といった文脈の中で、相手の頭髪という本来は土の存在すべき場所ではない部分に強制的に付着させる行為によって、「汚れ」として認識されると解釈できる。すなわち、土そのものの属性というよりも、その使用場面・空間、さらにはそれを投げつける行為自体の不適切さが「脏」という認識をもたらす要因となっているのである。

このように、「脏」は衛生的条件だけでなく、物の配置や行為の文脈に対する社会的合意に依存して意味が構築される。特に、中国語の「脏」には、「不衛生」という客観的属性と、「不適切」という主観的評価が共存し、後者は共同体の規範意識と深く結びついている。

4.3 「無秩序」における「脏」

「無秩序」における「脏」は、物理的な汚染や空間配置とは異なり、主に視覚的な乱れや規範からの逸脱を中核とする。ここで、Dreadlocks（ドレッドロックス）という互いに絡まり合っている束形状の髪型の中国訳「脏辫」を例に見てみたい。

(12) …把脏辫拆了让头皮休息休息吧…

(13) …内马尔我记得这小子说过脏辫儿是他的命…

ドレッドロックスは髪を三つ編みや絡み合わせて作る髪型であり、アフリカ文化などで、「自然の美」として尊重される。しかし、中国語の「脏辫」という名称は、「乱れた髪」から「不潔な髪」という連想を直接的に喚起する。ここでの「脏」は、髪型の物理的状態（埃や汚れの付着）ではなく、髪の中の視覚的無秩序性に基づく審美的判断を表す。つまり、「脏辫」は必ずしも「辫脏（髪が汚い）」になる訳でもない。例(12)では、「让头皮休息休息（頭皮を休ませる）」から分かるように、注目点すべき点は髪の中の「物理的な汚れ」ではなく、ドレッドロックの維持が頭皮に与える負担、すなわち「整っていない」という状態にある。例(13)で取り上げられているサッカー選手ネイマールのドレッドロックは、自己表現の一環として重要な意味を持つが、中国語メディアでは「脏辫儿」という表現が頻用される。ここでの

「脏」は、ネイマールの髪型を単に「不潔」と断じるのではなく、一般的なスポーツ選手の「清潔なイメージ」(短髪や整髪)という暗黙の期待に対する「規範からの逸脱」に注目を引く役割を担っていると考えられる。

4.4 「不道德」における「脏」

前述のように、中国語の「脏」はいずれも、物の属性や空間、視覚との関係性に基づいて意味が拡張されてきた。また、「脏」はさらに抽象化され、人間の行為や倫理観に対する否定的評価を表現するメタファーとしても機能する。

(14) …甚至假借医生名义，向善良的病人伸出贪婪的脏手…

(15) …那是两码事儿。有几个脏钱算什么？生不带来，死不带走…

例(14)では、「脏手」は、文字通りの「汚れた手」ではなく、倫理的汚染を受けた行為者の手を比喻する。医師の職業は「生命を救う」という社会的に神聖視される役割を持つため、「医者の名を借りる」行為は、その倫理的純粋性を利用した欺瞞を意味する。さらに「贪婪(貪欲)」という形容詞が付加されることで、「脏手」は「患者からの不当な利益収奪」という非倫理的行為を強調する。この表現は、手の物理的状態ではなく、行為者の意図や行為の結果を「汚れ」として可視化する。例(15)では、「脏钱」は、金銭そのものの物質的状態(例えば紙幣の破損や汚れ)ではなく、金銭の取得手段や使用目的の非倫理性を指す。「金銭の質」を問題にしており、道徳的に「汚れた」富への軽蔑を表明している。

4.5 「不浄性」における「脏」

「脏」はさらに、不可視的な超自然領域における「不浄性」を表現するメタファーとしても機能する。ここでは、民間信仰や民俗的禁忌に根ざした「超自然的な汚染」を指す「脏」の用法を以下の例から見る。

(16) …我是被小鬼附身了么，还是沾了什么脏东西了…

(17) …10点了！回去！别再遇到些什么脏东西…

例(16)では、「脏东西」は超自然的な「穢れ」や「悪霊の影響」を比喩的に表現する。「脏」が単なる比喩ではなく、実在する「汚染物質」として認知されている点にある。例えば、葬式後の「穢れ払い」や、風水で「陰気の強い場所」を避ける慣習は、こうした「脏东西」を物理的に除去する儀礼的行為と結びついている。つまり、「脏」はここでは、超自然的な危険性を有する実体として扱われ、社会的共有知に基づく禁忌の対象となる。例(17)にある「脏东西」

も、夜間に徘徊するとされる幽霊や悪霊を指し、物理的・倫理的な「汚れ」ではなく、時間と空間の交差点に現れる超自然的危険を意味する。

4.6 「不名誉」における「汚」

以上のように、「脏」には「不衛生」「不適切な空間配置」「無秩序」「不道德」「超自然的な不浄」など、多層的な意味が含まれることを見てきた。次に、中国語の「汚」が物理的な汚れから抽象的な名誉毀損へと焦点を移し、社会的評価や集団的記憶に刻まれた「痕跡」を強調する独自の意味領域を持つ点について、以下の例を通して考察していく。

(18) …麻烦别给我们学校晚会留下污点…

(19) …为了洗清污名，我们眼下正全力搜查…

例(18)にある「污点」は、物理的な汚れ（床のシミ）ではなく、イベントの成功を損なう「不名誉な出来事」を意味する。学校の公式行事は「純粋な教育的意義」を象徴する場であり、そこで起こったトラブルは一時的な問題ではなく、「污点」として長く記憶され、組織の評判に傷を残す。この表現の核心は、「汚」が時間的な持続性を伴う点にある。物理的な汚れは拭き取ることで消せるが、「污点」は歴史的な事実として記録に残り、集団的記憶の中で不可逆的なものとして刻まれることが強調されている。例(19)での「污名」は、「污点」と同様に、物理的な汚れではなく、名誉を損なうような社会的なレッテルを指す。主体が不当につけられた「污名」、つまり社会的な非難や誤解から名誉を回復しようとしているプロセスを表している。

5 形容詞的「汚」について

従来の中国語において「汚」は、複合語内での構成要素（例：「污水」「污名」）として限定された機能しか持たなかったが、現代の言語運用、特にインターネットを介した若年層のコミュニケーションにおいて、単独で形容詞としての用法が急速に拡張している。この変化は、単なる語彙の増殖ではなく、文法範疇の再編と社会文化的コンテキストの相互作用を反映するものである。具体的に以下の例を見てみよう。

(20) …基本上没男生什么事了, 没错我们宿舍一天的污段子 …

(21) …首先你这个想法太污了，其次…

(22) …我竟然想污了，你觉得想啥自己说…

まず文法的観点から見ると、「汚」は従来の動詞・名詞的用法から脱却し、性質形容詞とし

ての特徴を顕著に示す。例(20)「汚段子(下品なジョーク)」では、「汚」が名詞「段子」を直接修飾する連体修飾語として機能し、複合語形成の柔軟性を超えた臨時的造語能力を獲得している。さらに例(21)「太汚了(あまりに下品だ)」では、程度副詞「太」との共起により主語の属性を評価する述語として独立し、例(22)「想汚了(考えが逸れる)」では動詞の結果補語として思考の方向性を修飾する。これらの用法は「汚」が文法的自由度を拡大し、従来の複合語依存から脱したことを示す。

意味の変容においては、「汚」が物理的汚染(「污水」)から道徳的瑕疵(「汚名」)を経て、性的タブーを婉曲化する比喻へと抽象性を深化させている点が特筆される。例えば、例(20)の「汚段子」は、学生寮という親密な空間で交わされる性的ニュアンスを含む冗談を指すが、ここでの「汚」は単なる「不潔」ではなく、コミュニケーションの遊戯性を内包する。同様に例(21)で「想法(考え)」が「汚」と評される場合、それは思考内容の倫理的逸脱を批判すると同時に、純粹さへのノスタルジックな憧憬を逆説的に際立たせているとでも考えられる。さらに例(22)「想汚了」における自嘲的表現は、性的想像への無自覚な没入を「汚れ」として可視化しつつ、恥の感情をユーモアで中和する社会的機能を果たす。

6 おわりに

本稿は、現代中国語における「脏」と「汚」の多義性と文化的・社会的背景に焦点を当て、両語の意味拡張メカニズムと機能的な差異を体系的に分析した。主な知見は以下の三点にまとめられる。

第一に、「脏」と「汚」はともに「不潔さ」を中核とするが、その意味拡張の方向性に顕著な差異が認められる。具体的には、「脏」が身体的・即物的な汚れを基盤とし、空間配置の不適切さ(脏物)や審美的無秩序(脏辫)へと主観的評価を広げる一方、「汚」は物質的汚染から抽象的な社会的瑕疵(汚名)へと階層的に意味を深化させる。

第二に、両語の意味変容は中国社会の価値観と深く連動している。「脏」が「不道徳」や「超自然的な不浄」を表現する用法は、共同体の規範意識や民間信仰を反映し、「汚」が「不名誉」や「性的タブー」を暗示する形容詞化は、デジタル世代の言語的実験を象徴する。特に「汚」の形容詞的用法は、タブーの婉曲化と若年層のアイデンティティ形成が交差する場として意義深く、言語変化が社会変容の鏡像となる事例を提供した。

第三に、両語の文法機能の変容(「汚」の形容詞化)は、中国語の動態性を如実に示す。「汚」が複合語依存から単独形容詞へと脱却した背景には、インターネットを介した言語の民主化と表現の経済性への適応が関与していると考えられる。

参考文献

- 董秀芳（2021）单双音节对应词的差异及释义问题，《汉语教学学刊》2021 年第 1 辑（总第 13 辑），20-35，北京大学出版社。
- 沈国威（2002）漢字形態素の類型と漢字・語彙教育『文化事象としての中国』，関西大学文学部中国語中国文学科（編），377-397
- 馬場優子（2000）空間分類と民俗「衛生」観念. 大妻女子大学紀要-文系-巻: 32;号: 131-146.
- 華，迪聖（2000）疼痛感の表現に関する日中対照研究，東京都立大学
- 中国社会科学院语言研究所（2016）《现代汉语词典》第七版，商务印书馆
- 施光亨，王绍新（2011）《汉语教与学词典》，商务印书馆
- 李行健（1998）《现代汉语规范字典〈凡例〉》第 4 版，语文出版社
- 北京语言大学语料库中心 BCC 语料库